カトレア

八王子市立第三・第四・第十・大和田小学校

放課後の子ども教室 囲碁教室だより

63 号　2021 年 12 月

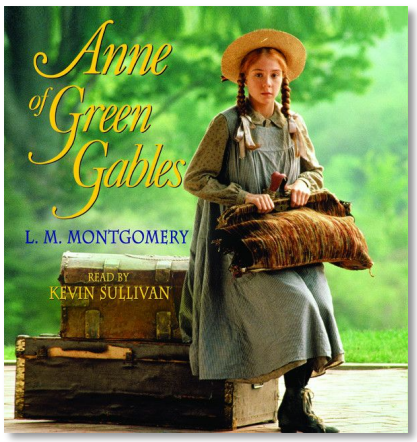
編集　成田　滋　shigerunarita@gmail.com
ブログ　https://naritas.jp/wp1/
八王子囲碁連盟　https://hachigoren.com

八王子市立第三小学校でも囲碁の手解きをします。

◆12 月の放課後の子ども囲碁教室の日程です

第三小学校：12 月 2 日、9 日、16 日　2 時 30 分～　四階 家庭科室
第四小学校：12 月 6 日、13 日、20 日　2 時 30 分～　三階 ひらめき教室
第十小学校：12 月 3 日、10 日，17 日　2 時 30 分～　一階 家庭科室
大和田小学校：12 月 1 日、8 日、15 日　2 時 30 分～　二階　第二音楽室

◆子どもに読み聞かせたい本　その 3 「赤毛のアン」



『赤毛のアン』は、1908 年にカナダの作家ルーシー・モンゴメリ(Lucy Montgomery) が発表した児童文学書です。原題は【Anne of Green Gables】といいます。主人公の髪は赤毛で想像力が豊かな女の子です。ロマンチックなものが好きで、美しいものには名前をつけたがります。しかしどこか思索的であり、自分がとても不幸に感じたりします。正義感が強く、思いがけない問いや答えを出します。例えば「変わっていることは駄目なの？」「どうして人を虐めるの？」といって周りの人を驚かせるのです。

物語りの舞台は、カナダのプリンス・エドワード島(Prince Edward Island)の村、アボンリア(Avonlea)です。マリラ(Marilla)とその兄マシュー(Matthew) は独身ですが、孤児院から男の子を養子に迎えることにします。養子がやって来る日、駅に降りたのは、11 歳の赤毛のアンです。マリラは初めは、彼女を孤児院に帰すべきだといいます。マシューは、家においておいても良いのではといいます。やがて明るくおしゃべりなアンに 2 人は心を動かされ、彼女を引き取ることにします。

アンは地元の学校に入学し、そこで同じ年のダイアナ（Diana） と親友になります。アンがグリーン・ゲイブルスでお茶会を開き、ダイアナをお客さまに招きます。アンはダイアナにいちご水と間違えてブドウ酒を出してしまい、ダイアナは酔っ払って家に帰ります。ダイアナの母親が激怒し、アンにダイアナとの一切の付き合いを禁止します。

級友に髪の色をからかわれ、それに反抗してアンは不登校になります。やがてアンは登校を再開し勉強にうちこむのです。冬のある夜、アンの家にダイアナが飛び込んできて、ダイアナの妹ミニー・メイ(Minny May)が熱を出したと伝えます。両親は不在なのです。それを聞いたアンは、ダイアナの家で一晩中看病します。アンに冷たくしていたダイアナの母親は謝ります。想像力豊かなアンはその後も騒動を起こしますが、周囲からは慕われて成長していきます。

向学心が豊かなアンは一生懸命勉強し、クイーン学院(Queen School)に合格します。村の音楽会で詩を暗唱したアンは拍手喝采を浴びます。その後アンはレドモンド大学(Redmond College)で学ぶための奨学金を獲得します。マシューが銀行倒産の新聞記事を見て、心臓麻痺で倒れ急死してしまいます。マリラは自分の目が悪くなっていることを知り、農場と家を売ることをアンに伝えます。アンは大学進学をあきらめ、隣町のカモディ（Carmody）で教師として働きながらマリラを支える決心をします。